



スポ協だより

健康

癒し

リフレッシュ

Let's SPORT!

ひたちなか

発行・編集／ひたちなか市スポーツ協会 広報紙編集委員会（ひたちなか市市民生活部 スポーツ振興課内）
〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号 ひたちなか市役所 第1分庁舎1階
TEL.029-219-7373（直通）／029-273-0111（内線2112）

<http://www.hitachinaka-taikyo.jp/> ひたちなか市スポーツ協会



試合前には、小学生球児による「選手と守ろう、オンラインマーケス」（試合開始前に守備位置に着き選手を迎えるセレモニー）と始球式が勝田野球スポーツ少年団の参加で行われました。小学6年生

試合前には、小学生球児による「選手と守ろう、オンラインマーケス」（試合開始前に守備位置に着き選手を迎えるセレモニー）と始球式が勝田野球スポーツ少年団の

当日は前日からの雨模様で天気が心配されましたが、試合開始時には陽も差して、スタンドには2300人を超える多くの観客が詰めかけました。

式戦「読売ジャイアンツVS北海道日本ハムファイターズ」の試合が、7月1日（土）ひたちなか市民球場で開催されました。

北海道日本ハムファイターズ戦開催

読売ジャイアンツVS

バッテリーによる始球式は、普段の軟式球とは違うプロの使う硬式球で、ホームベースまでの距離も約2m遠く、さらに多くの観客が見守る中で大変緊張していましたが、ピッチャーの山崎君は見事なストライクボールを投げ込み、観客から大きな拍手が上がりました。

また偶然にも勝田野球スポーツ少年団は、当日の読売ジャイアンツ先発ピッチャー高橋優貴投手が小学生時代に所属したチームで、高橋投手も試合後のインタビューではとても懐かしかったと話していました。参加した少年団選手は、間近で憧れのプロ野球選手に接することができ大変感激していました。少年団選手には、各ポジションのジャイアンツ選手からサイン入りボールがプレゼントされました。

試合は、高橋投手と日本ハム・ポンセ投手の両先発でスタート。ジャイアンツは、0対0で迎えた四回

裏二死二塁から石川選手（現千葉ロッテ）のライトへのタイムリーヒットで先制します。五回裏には、ランナー一塁からトツバッターで先発出場の明秀学園日立高校出身増田陸選手が二塁打を打ちましたが、ランナーは惜しくもホームでタツチアウト。スタンドからは大きな歓声と悲鳴が交錯し盛り上がりました。投げてはこの1点を高橋投手から四人の継投で抑え、そのままジャイアンツが1対0で勝利しました。

高橋投手は、五回表一死満塁のピンチもダブルプレーで切り抜け、ランナーは出したものの五回無失点の好投で勝利投手となりました。今回は二軍戦での登板でしたが、地元出身のドラフト一位高橋投手には一軍戦での凱旋登板が期待されます。



茨城大学軟式野球部マネージャーから両監督に花束贈呈

Pick up!

スポーツで躍動したひたちなかの若人たち!!

今年度も様々な競技のスポーツ大会が、全国各地で行われました。スポーツマンシップにのつとつ各選手が正々堂々と熱い試合をくりひろげ、その中で本市に住所を有する、または在学する若人選手をご紹介します。



よこやま はるな
横山 陽菜選手

今後の目標

目標は中学生最後の大会、第54回U16陸上競技大会で優勝することです。全中で9位といつもの躍進ができず悔しい思いをしたので笑顔で終われるよう頑張ります。

競技
学校名
出場大会
及び成績

陸上競技(走高跳)
大島中学校(3年)
第50回全日本中学校陸上競技選手権大会 9位
2023関東陸上競技選手権大会 出場
第54回U16陸上競技大会 出場



なかむね りおん
中宗 梨音選手

今後の目標

今年の関東大会、全国大会を通して今の自分の課題をはっきり見つけることができました。なので、来年全中優勝するために、今からしっかり努力を積み重ねていきたいです。

競技
学校名
出場大会
及び成績

陸上競技(共通女子800m)
勝田第三中学校(2年)
2023茨城県中学陸上競技大会 優勝
第51回関東中学校陸上競技大会 6位
第50回全日本中学校陸上競技選手権大会 出場



ながおか あゆ
永岡 歩夢選手

今後の目標

今後の目標は個人種目で関東、インターハイに出場して活躍する強い選手になることです。応援してくれている方々に感謝の気持ちを忘れずに日々の練習に励んでいきたいです。

競技
学校名
出身中学
出場大会
及び成績

陸上競技(100m・4×100mリレー)
茨城キリスト教学園(1年)
那珂湊中学校
茨城県高校総体陸上2023 4×100mリレー 優勝
2023茨城県選手権大会陸上 4×100mリレー 優勝
2023関東高校総体陸上 4×100mリレー 3位
2023関東陸上競技選手権大会陸上 4×100mリレー 5位
2023インターハイ 4×100mリレー 出場



おいかわ こころ
及川 心暖選手

今後の目標

自己ベスト更新を目指しに今の自分に必要な練習を考えながら取り組みたいと思います。また、支えて下さる方々への感謝を忘れずに日々精進してまいります。

競技
学校名
出身中学
出場大会
及び成績

陸上競技(100mハードル)
茨城キリスト教学園(3年)
佐野中学校
茨城県高校総体陸上2023 100mハードル 優勝
2023茨城県選手権大会陸上 100mハードル 優勝
2023関東高校総体陸上 100mハードル 出場
2023関東陸上競技選手権大会陸上 100mハードル 出場
かごしま国体陸上 女子少年A 100mハードル 出場



今後の目標

今回全国大会に出場できたのは、周りの方々の支えや応援のおかげだと思います。今後も一番応援されるチームを目指して努力していきたいと思います。

すずき ゆりの
鈴木 ゆり乃選手
2年 出身中学 那珂湊中

競技
学校名
出場大会
及び成績

ソフトテニス女子
常磐大学高等学校
令和5年度全国高等学校
総合体育大会ソフトテニス競技大会
出場

こがみ ゆづき
古神 柚希選手
3年 出身中学 勝田第二中

つじい しおり
辻井 菜選手
3年 出身中学 勝田第一中

おおつ ことみ
大津 琴海選手
3年 出身中学 勝田第一中

なかはし おとは
中橋 桜咲選手
1年 出身中学 勝田第二中

さとう もえ
佐藤 もえ選手
1年 出身中学 勝田第二中



おおまめうだ うらら
大豆生田 麗選手

競技
学校名
出場大会
及び成績

レスリング
勝田第二中学校(3年)
2023年沼尻直杯全国中学生選手権 第2位
令和5年度茨城県民総合体育大会(中学の部) 第1位
2023年全日本ビーチレスリング選手権大会 第1位
(優秀選手賞)



ひらの あき
平野 亞季選手

競技
学校名
出身中学
出場大会
及び成績

バドミントン(女子シングルス)
勝田特別支援学校高等部(2年)
田彦中学校
第5回日本知的障がい者バドミントン選手権大会
女子シングルス 第3位



うらやま ゆあ
浦山 由愛選手
かけやま りのん
景山 凜音選手

競技
学校名
出場大会
及び成績

バドミントン(4年女子ダブルス)
外野小(4年)(浦山選手) 東石川小(4年)(景山選手)
第32回全国小学生バドミントン選手権大会茨城県予選会
4年生女子ダブルス 準優勝・関東大会 出場

専門部だより

ひたちなか市 グラウンド・ゴルフ協会の紹介

会長 中村 厚士

グラウンド・ゴルフは、年齢・性別・体力・運動能力等が結果に大きく影響することがないよう、距離や用具を工夫し開発され、いつでも・どこでも・だれでもできるスポーツとして全国に広まっています。

当協会は平成21年に発足しました。地域に密着の自治会や高齢者クラブを単位とする30のクラブから成り、現在会員数360余名の団体です。大会は毎月1回のペースで開催しています。参加者募集から組合せ、当日のコース設営等、大会の運営一切を役員理事と各クラブが一体となり行っています。毎回300名前後が参加し、日頃の練習の成果を發揮しながら競い合い、和気あいあいと楽しんでいます。年齢や体力に関係なく開発されたスポーツであることを証明するかのように、毎回上位入賞者が入れ替わります。入賞を逃した方々は、次の大会を目指して早速翌日からクラブの皆さんと一緒に練習に励みます。県登録の

普及指導員研修会の様子



現在、当協会は平均年齢80歳の愛好者は口コモ度テスト結果が比較的優れていると言われており、これを証明するかのように皆さんお元気です。とはいえて運営方法等を改善しながら、人生100年時代に向かって、会員の皆さんと一緒に楽しみながら進んでいきたいと思います。



【基本理念】
手軽に、気軽に、みんなを笑顔に
【行動目標】
○スポーツを通じた地域住民同士の交流促進をお手伝い
○スポーツを通じて地域住民が笑顔になれる場の提供

その後、部会員を集め湊中学区体育部会の理念と行動目標2項目を決めました。

そこで、スポーツを通じて地域住民交流の橋渡しのお手伝いこそが、「今、私たちのできること」なのです。



今、私たちのできること

湊中学区地域を住みよくする会体育部会
部会長 大越 正章

会員は県主催の大会にも参加します。選抜され、国体をはじめ各種全国大会・関東大会等に出場し多くの皆さまが活躍しています。当

協会では、会員以外の皆さまにも楽しんで頂くため、市民大会を年3回、そして誰でも参加して練習することができます。地域交流会を毎月開催しています。

私が5年前に湊中学区地域を住みよくする会体育部会（以下「湊中学区体育部会」）部会長に就任した時、第一に考えたことがあります。それは私たち地域のコミュニティ組織に属する体育部会ができる活動の原点は何かということです。

私たち湊中学区体育部会は、競技力向上強いてはオリンピック選手を輩出することを目的とした選手育成の場ではなく、スポーツと

いう名の道具を使い地域住民を笑顔にする触れ合いの場を提供するということが、活動の原点ではないかと考えました。

その後、部会員を集め湊中学区体育部会の理念と行動目標2項目を決めました。

そこで、スポーツを通じて地域住民交流の橋渡しのお手伝いこそが、「今、私たちのできること」なのです。

した。しかし一昨年、テレビ番組で芸能人が取り上げて有名となつたモルックに惹かれるものを感じ導入することを決めました。導入理由としては、モルックは北欧フィンランド発祥のスポーツではありますが日本モルック協会の理念でなく、皆が同じフィールドで誰もが一緒に笑顔になれる」という言葉が湊中学区体育部会の目指すところと一致するということです。

湊中学区体育部会では、今年度から2か年計画でモルックを使って体育部会活動方法を変えることとしました。

昨今のコロナ禍や時代の変遷により、人と人との関わり合い方が大きく変わろうとしています。そのような状況下でも「地域住民同士の交流」ということは地域で生きていく中では大切なことだと考えます。

理念と行動目標を基に令和元年度から数多くのニュースポーツを導入し、数多くあるニュースポーツを取り上げてきましたが、しつくりくる種目が見つかりませんで

スポ少だより



代表者による日本武道館の大会参加

た合気道を主とした団体です。現在団員数は45名でその4割は女子で、小学1～6年生で構成。稽古場所は、毎週（土）松戸体育館他那珂湊武道館の2か所です。アットホームな雰囲気で拓かれた少年団を目指して、柔軟な指導を心掛けけています。

合気道の精神は、人と競う事なく協調し和する事です。その為、試合競技は行いません。繰り返しありに技を掛け合いながら、受け身や技を学んでいきます。ゲーム性を取り入れた「受け身」や「技

合気道の精神は、人と競う事なく協調し和する事です。その為、試合競技は行いません。繰り返しありに技を掛け合いながら、受け身や技を学んでいきます。ゲー

運動が苦手な子どもでも楽しく遊びながら、時間を掛け、繰り返し稽古する事により全員が努力し克服しています。また、受け身稽古や基本動作等の日々の稽古鍛錬や、友達と触れ合い汗を流し合う稽古を通じ、徐々に体力がつき、我慢強く、自己表現が出来るようになっています。

稽古の中で「礼儀作法・思いやり・感謝・忍耐・和」の精神を学びながら、身体面では敏捷性・柔軟性・体力の向上を目指します。

A person in a white martial arts uniform is performing a low roll or tuck on a light-colored mat. They are lying on their side with their arms extended forward. In the background, there are wooden cabinets and a yellow trash can.

「心技体」スポーツの原点のことばではないでしょうか。スポーツをする選手は勝つことを目標とし、厳しい練習に耐え、文字通り「心技体」を習得する為に日々努力をするものです。しかし、中学校の部活動の地域移行等、地域社会におけるスポーツの役割が、大きな変革期に直面しています。また少子化も伴い各競技、団員の確保も重要な課題となっています。

りマット運動で終わりです。レスリングの練習は、後半の1時間程度のみです。格闘技と言えるレベルの練習は、個々のスキルがトップクラスの選手のみです。練習の大半は、体幹を磨き、体力向上を目指しています。レスリングはバランススポーツでありながら、練習に体幹トレーニングを別メニューで取り入れることはあまり

礼儀作法と 逞しさを養う合気道

楽しいレスリング

たちなかレスリングクラブ
代表指導者 助川 賢司

イメージの強さに押され、レスリングは危険なスポーツとして認知されていいると考えていました。

を目指す子には目指せる環境を与えることが出来ます。5年前の話ですが、当時の団員数は、小学生が22名、この中で全国の学年別大会において、優勝者が1名、3位2名と、正に「心技体」の修得を目指す子どもたちが多くいました。現在は、中学生4名、小学生7名、未就学児2名の13名で活動しています。オリンピックでレスリングもメダルを獲得する選手が

この流れの中で、レスリングの良いところは、「個人競技」だというところです。レスリングを楽しく学びたい子には楽しく、高みへ向かって成長する環境で、子供たちが成長するための環境をつくることが、この競技の大きな特徴です。

グの練習こそが、体幹トレーニングであります。なぜなら、レスリングの得意技、重力での競争であります。

ある団員が運動会の徒競走でトップを走つていてつまずきました。しかし、その団員は手を擦りむいて、Tシャツの腹部を汚して転ぶことなく、倒れる瞬間に前転をし、再び走りはじめました。それでも2位でゴールを駆け抜けました。レスリングをしていれば、誰でも出来ることではありますんが、それを可能に出来るのがレスリングの練習なのです。

入団後、1年も過ぎると、保護者の方から「逞しくなった・身体が柔軟になつた・挨拶や所作が上手になつた」と評価を得ています。他に、ハイキングや合宿キャンプ等の野外体験行事や日本武道館の全国大会も毎年出場しています。



6年生による投げ技

いろいろな場面で
スポーツを楽しんでいる方々に
スポットライトをあててみました!

スポッターライト

小滝水音プロ 初優勝おめでとう

ゴルフ連盟会長 七字 邦夫

2017年LPGAツアーのプロテストに合格した小滝水音プロ（静ビルズカントリークラブ所属）は、2023年7月23日大東建託いい部屋ネット・レディース（福岡・ザ・クライーンズビルGC、6540ヤード、パー72）にて、通算18アンダーの2位と2打差の198ストロークでツアーチュラント優勝を果たしました。54ホールに短縮された3日目トップでスタートした小滝プロは、12番ホールからの5連続バーディで、小祝さくらプロ、吉田優利プロの追撃をかわしての優勝で、「茨城新聞」の7月24日付けで第一面を飾ったのでござる。小滝プロは、今シーズンも健在。5月の台湾ツアーチュラント優勝後「Let's SPORT!」（VOL19）で紹介したグリーン上でパットする際のワイドスタンスは今シーズンも健在。5月の台湾ツアーチュラント優勝が大きな自信となつて今回の日本ツアーチュラント優勝に結びつきました。優勝後「Let's SPORT!」に送つて頂いた小滝プロのコメントを紹介します。

「プロ入り7年目ですが、やつと初優勝を挙げることができ、とても嬉しいです。いつも温かい応援ありがとうございます。この優勝で満足せず、複数回勝てる

援しよう。

い部屋ネット・レディース（福岡・ザ・クライーンズビルGC、6540ヤード、パー72）にて、通算18アンダーの2位と2打差の198ストロークでツアーチュラント優勝を果たしました。54ホールに短縮された3日目トップでスタートした小滝プロは、12番ホールからの5連続バーディで、小祝さくらプロ、吉田優利プロの追撃をかわしての優勝で、「茨城新聞」の7月24日付けで第一面を飾ったのでござる。小滝プロは、今シーズンも健在。5月の台湾ツアーチュラント優勝が大きな自信となつて今回の日本ツアーチュラント優勝に結びつきました。優勝後「Let's SPORT!」に送つて頂いた小滝プロのコメントを紹介します。

プレーヤーになれるようこれからも頑張ります。次は是非、地元の茨城で、いつも応援くださる皆様の前で優勝を挙げたいです。これからも応援よろしくお願ひ申し上げます。

小滝プロは7歳でゴルフを始め、明秀日立高校ゴルフ部一期生として岩手国体（2016年）では稻見萌寧プロ、金澤志奈プロと共に茨城県代表として団体優勝に貢献しました。2017年プロテストに一発合格して翌年の2018年には幾つかのトーナメントでトップ10の活躍をされました。その年に小滝プロを支援する後援会が（会長・鈴木譽志男氏、会員数当初70名、現在は140名）



令和5年7月26日（水）市総合体育館において、日立ハイテクケージーズの所属選手・コーチによるバスケットボール教室が開催されました。当日は、市内のミニバスケットボールスポーツ少年団に加入している小学5・6年生102名が参加、約3時間、基礎練習を中心とした指導を受けました。

教室はウォーミングアップ後、バスケットボールからスタートし、各グループに分かれ、ドリブル、シュートなどの練習ドリルを行いました。その後、小滝プロを支援する後援会が（会長・鈴木譽志男氏、会員数当初70名、現在は140名）



い、最後は選手も交え、ミニゲームを楽しみました。その後に行われた各グループでの選手への質問コーナーでは「どうしたらドリブルがうまくなるのか」など、向上心が伝わる質問が多く、選手のアドバイスを熱心に聞く子どもたちの表情が印象的でした。



令和5年度スポーツ少年団総会報告

令和5年度ひたちなか市スポーツ少年団総会が令和5年7月4日（火）にワーケプラザ勝田で開催されました。総会では報告事項2件、認定事項1件、議案3件を慎重審議し、すべて承認されました。

総会終了後には来賓としてひたちなか市長及びひたちなか市教育長、スポーツ協会副会长のご臨席を賜り、本団の振興発展に貢献した方や全国大会等で優秀な成績を認められた方、計10名の表彰式を執り行いました。表彰者は次の方々です。



◇功労者個人

那珂湊マーリンズ野球

細野 正剛

佐野空手道

石井 陽介

みなどバドミントン

沼田 幸枝

◇退任役員功労者

ひたちなか市スポーツ少年団

本部長 五十嵐 雅高

ひたちなか市スポーツ少年団

副本部長 大高 甲子男

ひたちなか市スポーツ少年団

副本部長 清水 敏治

ひたちなか市スポーツ少年団

大豆生田 麗

ひたちなか市スポーツ少年団

打越 心優

ひたちなか市スポーツ少年団

斎藤 愛心

ひたちなか市スポーツ少年団

松田 凜空

◇褒状個人

レスリング

スター☆ジャンブダンススポーツ

5月のスポーツ少年団本部の総会において、大高・清水両副本部長とともに本部長を退任いたしました。12年間の在任中は多くの方々に支えられ取り組んでまいりました。有難うございました。現在、少年団は「少子化」に伴い、団員数の減少が叫ばれ、市内の各単位団が存続を掛けた活動を迫られています。

指導者の皆さんのが献身的なボランティアやご努力により創意工夫のもとに、保護者が安心して預けられる安全な活動が行われています。古くからの競技スポーツや武道はもとより、ニュー スポーツや芸術性を有する種目も増え、県内でもハイクラスの少年団本部です。時代の変化と共に新たな課題や問題が有りますが、スポーツ少年団の主役は子どもたちです。スポーツを通しての学びは多く有ります。楽しくスポーツをしましよう。

5月のスポーツ少年団本部の総会において、大高・清水両副本部長とともに本部長を退任いたしました。12年間の在任中は多くの方々に支えられ取り組んでまいりました。有難うございました。現在、少年団は「少子化」に伴い、団員数の減少が叫ばれ、市内の各単位団が存続を掛けた活動を迫られています。

今年は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、コロナ前のように少年団活動が行われている事と思われますが、指導者の皆様には子もたちの体調管理に十分注意して、活動をお願いします。私の所属する少年団は、軟式野球です



この度、五十嵐 雅高本部長より引き継ぎ、本部長を拝命いたしました、田中 高司です。2年間宜しくお願ひいたします。

本部長新任挨拶 田中 高司



皆さんこんにちは。この度、五十嵐 雅高本部長より引き継ぎ、本部長を拝命いたしました、田中 高司です。2年間宜しくお願ひいたします。

今年は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、コロナ前のように少年団活動が行われている事と思われますが、指導者の皆様には

子もたちの体調管理に十分注意して、活動をお願いします。私の所属する少年団は、軟式野球です

が、子どもたちが中学・高校生になつても競技が続けられる様な指導を心がけています。

また、先日行われ日本が優勝したWBCの影響もあり、最近入団する選手が増えてきました。

スポーツの良さ、素晴らしさを教えられるのは、少年団の指導者だと思いますので、指導者の皆様には、これからも子どもたちが、

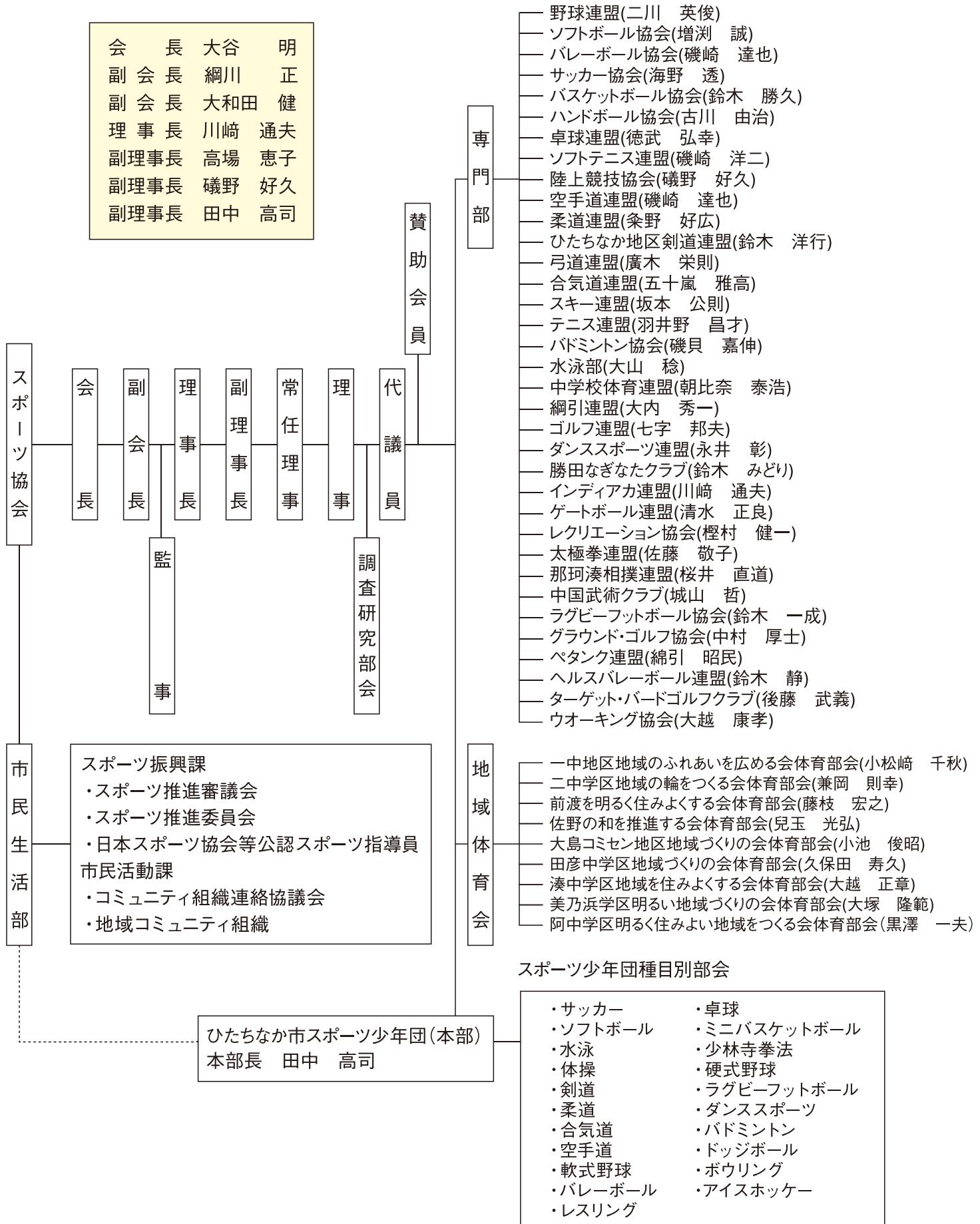
スポーツに対して夢を持てるよう

なご指導をよろしくお願いします。

最後に、ひたちなか市のスポ

ー少年団が、より一層のご活躍をしていただけるように、心からお祈り申し上げまして、ご挨拶とい

ひたちなか市スポーツ協会組織図(令和5年度)



総会報告



令和5年度ひたちなか市スポーツ協会総会が、令和5年5月31日（水）にワーグプラザ勝田で開催されました。来賓として大谷隆市議会議長が臨席されました。議事に先立つて、長年にわたりスポーツ協会や地域スポーツの振興に尽力された方2名、全国大会などに出席し優秀な成績を収められた方2名、計4名の表彰式が執り行われました。

議事については、報告事項2件、認定事項1件、議案7件が慎重審議のもと承認されました。



◇議題◇

報告第1号
令和4年度ひたちなか市スポーツ協会事業計画
認定第1号
令和4年度ひたちなか市スポーツ協会歳入歳出決算報告
監査報告

議案第1号
令和5年度ひたちなか市スポーツ協会事業計画(案)
議案第2号
令和5年度ひたちなか市スポーツ協会歳入歳出予算(案)

報告第2号

ひたちなか市スポーツ協会地域スポーツ指導員要綱の廃止
議案第3号

ひたちなか市スポーツ協会基本方針一部改正(案)
議案第4号

ひたちなか市スポーツ協会調査研究部会規程一部改正(案)
議案第5号

ひたちなか市スポーツ協会基金規程一部改正(案)
議案第6号

ひたちなか市スポーツ協会地域体育事業助成金交付要綱(案)
議案第7号

ひたちなか市スポーツ協会役員の選出
その他

◇功労者表彰◇



勝田ボウリングスポーツ少年団
高橋一葵
齋藤 豊
川又 吉次
バドミントン協会
監事
徳武 勉
一中地区体育部会 部会長
監事
○褒状贈呈者

功労表彰者の皆さん

今年5月に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ同等の5類感染症に移行となりました。各種スポーツ大会やイベントもコロナ禍前同様、盛大に開催されるようになり、この「スプロ協だより」も第21号以来、約4年ぶりに8ページで発行することができました。

猛暑が続いた夏も終わり、スポーツのしやすい季節とはなりましたが、空気の乾燥などにより自覚のないまま体から水分が失われてしまい、「かくれ脱水」が起りやすくなる「かくれ脱水」がされています。喉が渴く前にこまめな水分補給を心がけ、思う存分スポーツを楽しんでいただけると幸いです。

広報紙発行に向けて、ご協力いただいた方々に感謝申し上げるとともに、今後も多くのみなさまにお目通しいただける広報紙づくりを心がけていきたいと思います。（小池英夫記）

編集後記

【広報委員】
高場恵子 町田謙一 増渕 誠
磯崎洋二 益子勝徳 磯貝嘉伸
久保田寿久 小池英夫
齋藤純子 金沢美奈 助川保彦
順不同